

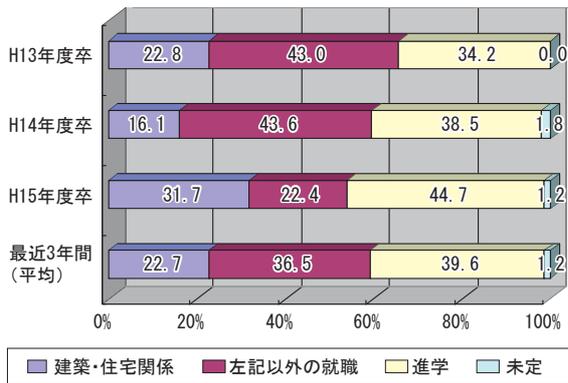
21 住宅産業の育成

—多様なニーズへ対応するために—

1 背景

環境重視、シックハウス対策、バリアフリーなどの社会要請や個々に異なるライフスタイルにより、住宅ニーズは多様化し、住宅産業により高い技術力、サービスが求められている。

一方、地元の大工、工務店は後継者不足や技術力の低下により厳しい状況にある。



県内の建築系工業高校生の就職状況

2 建設業者や担い手育成のための支援

本県では、各住宅関係団体で結成された「いしかわ21世紀住まいづくり協議会」と共同し、住宅産業、特に、大工・工務店の活性化、地域特性に応じた良質な木造住宅の供給を図っている。



学生が製作した模型展示(県庁19階)

平成16年度は、以下の事業を行った。

(1) ハウジングスクールの開催

大工・工務店等、地域工務店従事者に対する新技術情報の提供・普及および工務店の経営合理化等を目的とした、ハウジングスクールを毎年開催している。下表のように、技術的な講義だけでなく、法律の解説から営業手法等についての講座や現地研修会を開催した。

ハウジングスクールの講座一覧

講座内容
1 個人情報保護法に対する住宅業者の対応
2 体感 木材と木質構造の強度
3 絶対に倒産しないこれからの工務店
4 カラー心理学で解くインテリアコーディネート
5 民家再生における法令の現状と打開策
6 住宅リフォームにおける地域材利用のすすめ 地域材活用住宅のための木材利用法
7 住宅販売に係る住宅ローンの基礎知識 これからの住宅金融市場
8 輪島市・かほく市(日帰り研修)
9 省エネルギー住宅の設計・施工技術講習

(2) 高校生向け現場見学会等の開催

県内の建築系工業高校生を対象に、以下に示すような現場見学会と設計コンペを支援することで、木造住宅に関する知識の修得や業界のイメージアップをおこない、将来の後継者・技術者の育成を図った。

① 現場見学会の開催

県内の建築系工業高等学校(計5校)の学生を対象に、金沢城公園菱櫓、ほっと安心の家、住宅団地等の現場見学。

② 高校生模型製作・展示

高専・工業高校生を対象に、住宅設計競技をおこない、その優秀作の模型を制作し、白帆台ニュータウン、いしかわ住まい博のイベント、県庁舎等で展示。